

1992年度の研究会（研究会及び総会）は1992年12月5日と6日にかけて北海道七飯町の大沼国際セミナーハウスにおいて開催された。寒い冬の北海道にもかかわらず、19名の会員の参加があった。5日の宿泊は参加者全員が東大沼・留の湯に宿泊し、温泉につかりながら、また、懇親会を通して大いに交流を深めた。

研究会の発表は26の講演が行われ、活発な討論が繰り広げられた。総合討論を予定していたが、時間が足りず十分に行えなかった。

研究会終了後、車で函館に向かい、函館山からの夜景を見学した。寒いながら空気が澄んでおり、素晴らしい光景であった。また、その後希望者は元町の老舗「裕寿司」で舌つづみをうった。12月7日は希望者による市内観光を行った。「自由市場」が一番の人気であったのではないかと海産物を買うために研究会にきたと言う会員もいたくらいであった。大いに勉強もし、楽しんだ研究会であった。

12月5日の午後に総会が開催され、次の点について議論し、了承された。

1) 会則の改正について

現在の会則

会則7. 会費は、普通会员は2,000円、賛助会員は10,000円以上とする。
を以下のように改める。

改正案

会則7.

会費は、普通会员は2,000円、賛助会員は10,000円以上とする。

正当な理由なく2年以上会費を滞納した会員は、総会の議をへて、除籍されることがある。

改正理由

多くの会員の協力により、約6割の1992年度の会費が収められています。しかし、会員の中には3年以上の長期滞納者もいます。会の運営は会費の納入を前提として進められており、長期滞納により財政の圧迫を招くことが予想されます。

この提案に対して、多くの意見が出されました。小さな研究会ですから、一人でも多くの会員に加わっていただくように努力する一方、未納者にも会費未納の連絡をよりしっかりと伝えるようにする必要があります。とりあえず、全会員に送られていたのニュースレターは会費納入者のみに送ることとします。

2) 新入会員・退会会員の承認について

－新入会員－ 賛助会員：ジオサイエンスK.K.

一般会員：竹越 智（所沢西高校）、竹内 博（武蔵工大原研）、山田隆二（京都大学）

－退会－ 河合 廣

研究会参加者：鷹澤好博・原 雄・長谷部徳子・本多照幸・伊藤久敏・岩野英樹・北田奈緒子・升本真二・松田高明・村松敏男・Nghiem Vu Khai・大平寛人・角井朝昭・田上高広・竹内 博・竹内圭史・弘原海 清・渡辺公一郎・山田隆二・